

第6波に備えて第5波を振り返り 自宅療養感染者への医療供給体制の 新たな「強化・充実」策を立ち上げる

東京都医師会（自宅療養者対策担当）

副会長 平川 博之

理事 西田 伸一

理事 土谷 明男

東京都医師会・各地区医師会が取り組んだ 第5波の自宅療養感染者、待機者への医療支援策

1 区市町村の地区医師会による診療体制

「東京都自宅療養者等に対する医療支援強化事業」

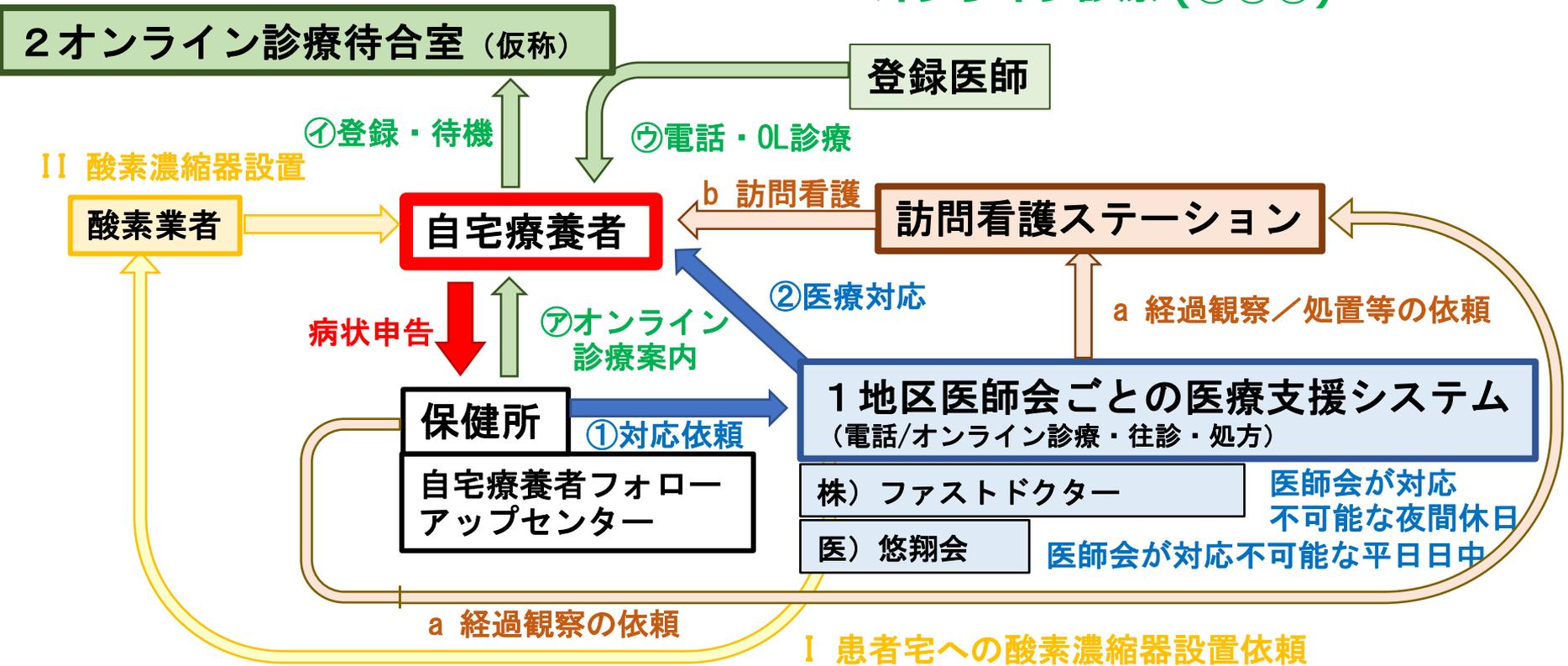
2 オンライン診療システムによる遠隔診療体制

「バーチャル待合室」

東京都自宅療養者等に対する医療支援強化事業

- ・ 地区医師会ごとの医療支援 (①②)
- ・ 訪問看護師による支援 (a b)
- ・ 酸素濃縮器貸与 (I II)
- ・ オンライン診療 (アイウ)

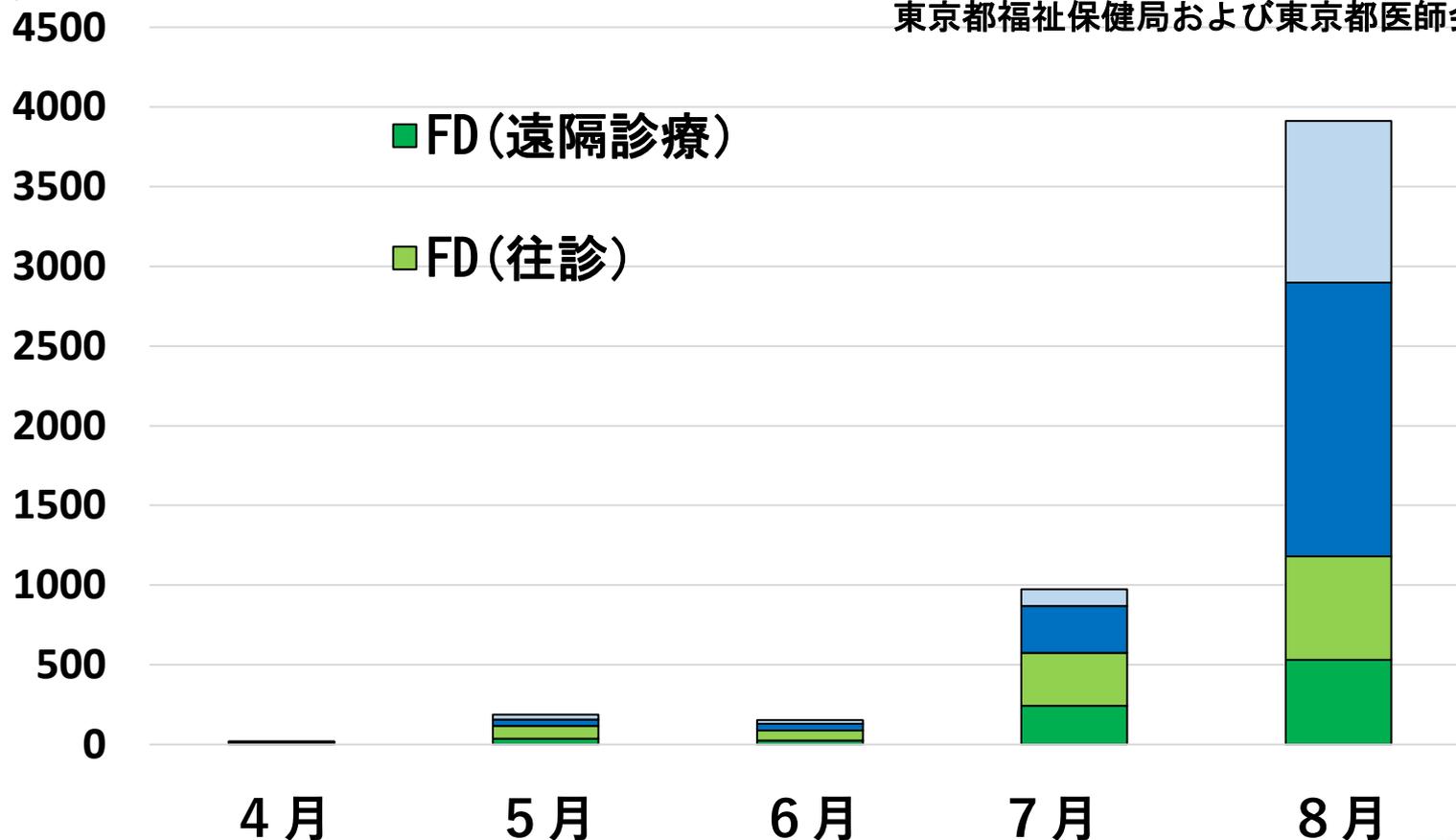
平日18~21時



東京都自宅療養者等に対する医療支援強化事業実績

(件)

東京都福祉保健局および東京都医師会データより

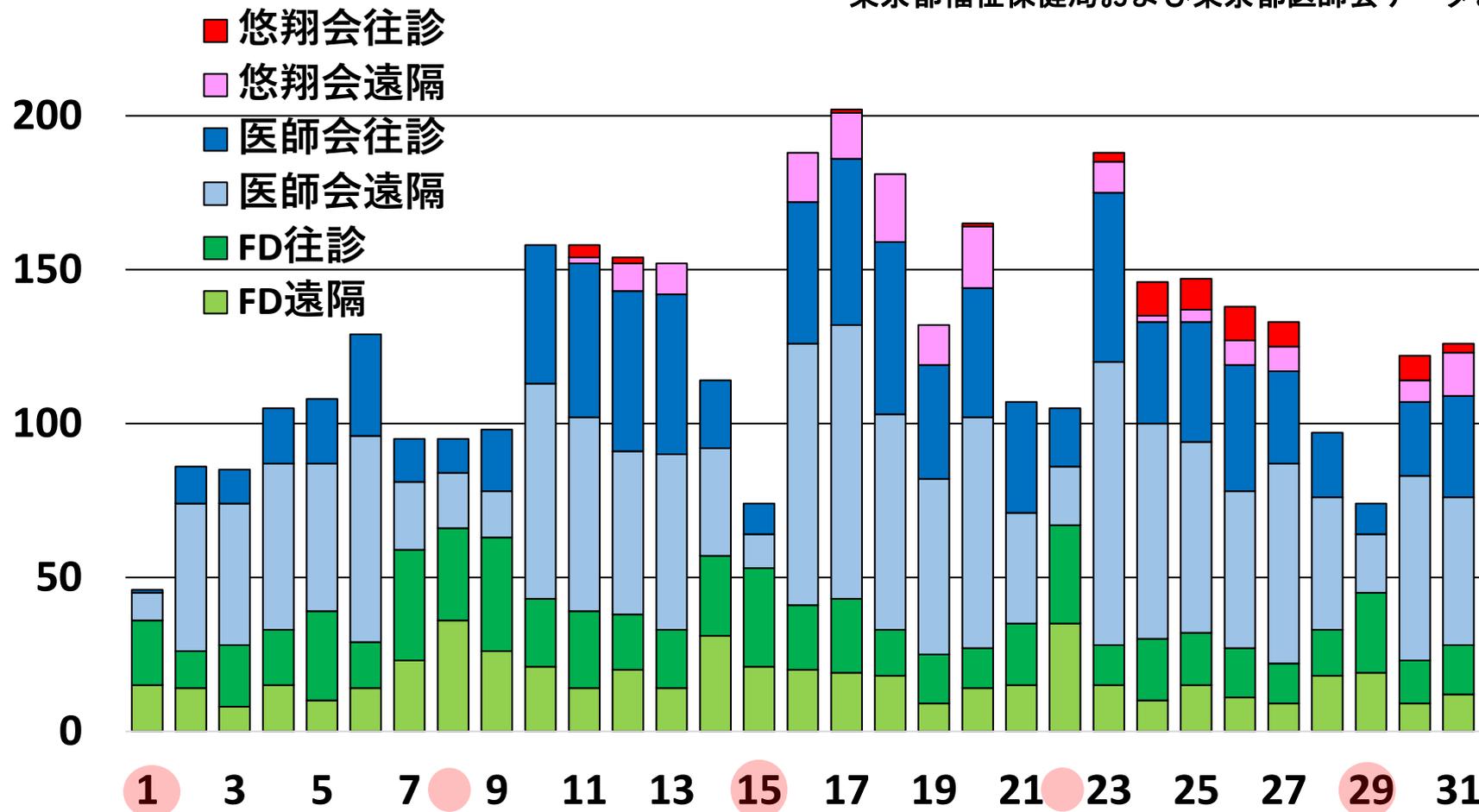


東京都自宅療養者等に対する医療支援強化事業実績 (8月分速報値)

保健所／FUCからの依頼に対する診療

東京都福祉保健局および東京都医師会データより

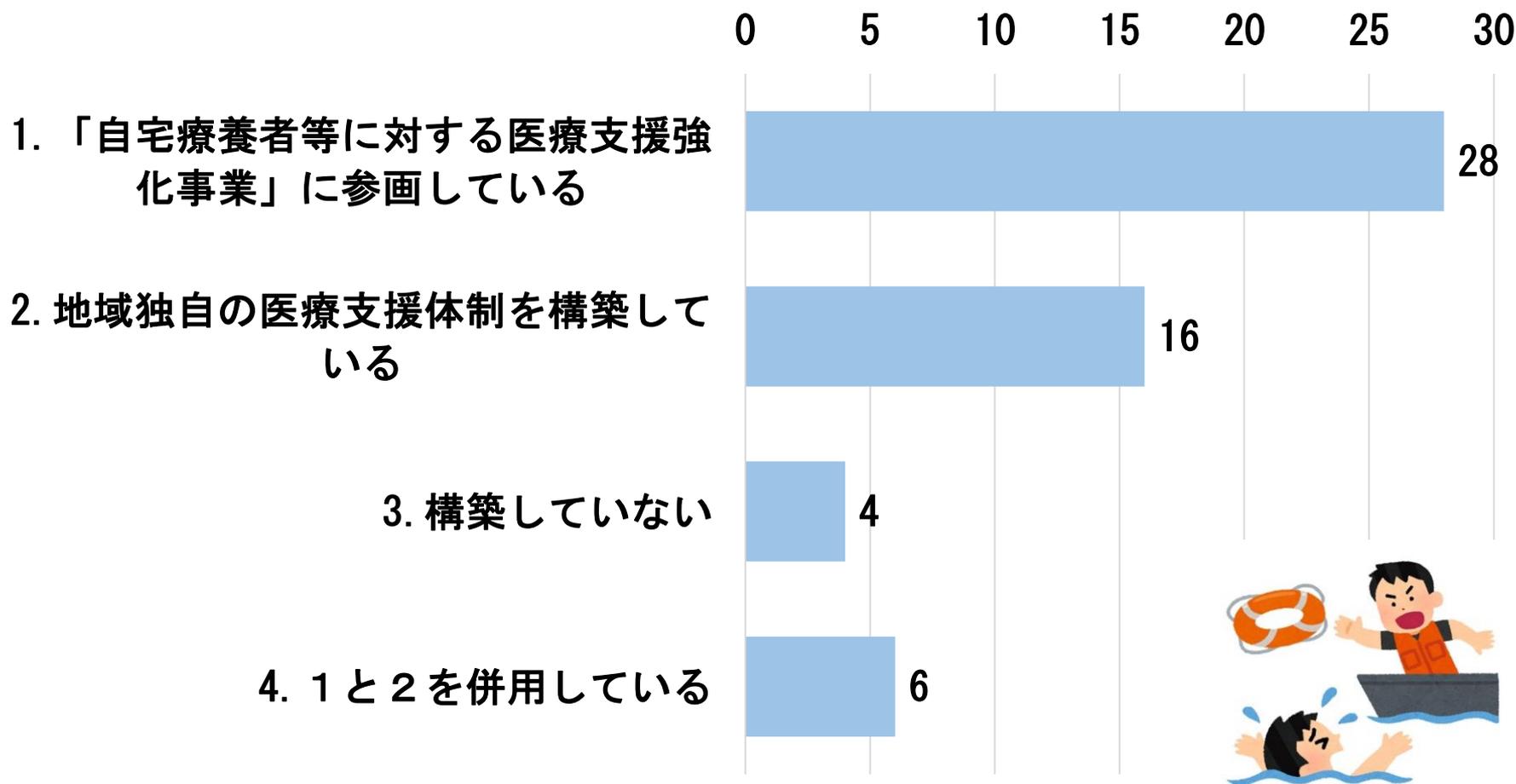
(件)250



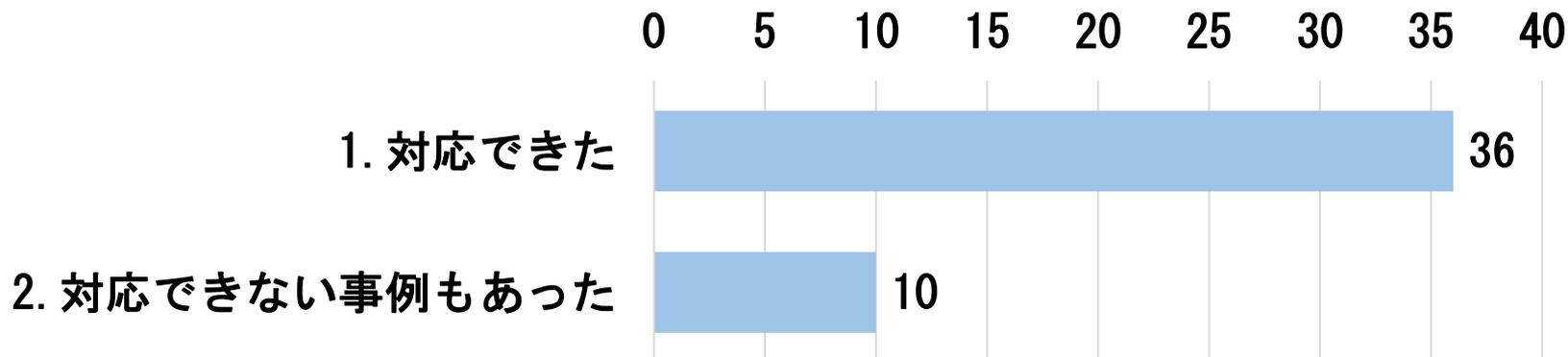
(日)

自宅療養者に対する医療支援体制を構築しているか

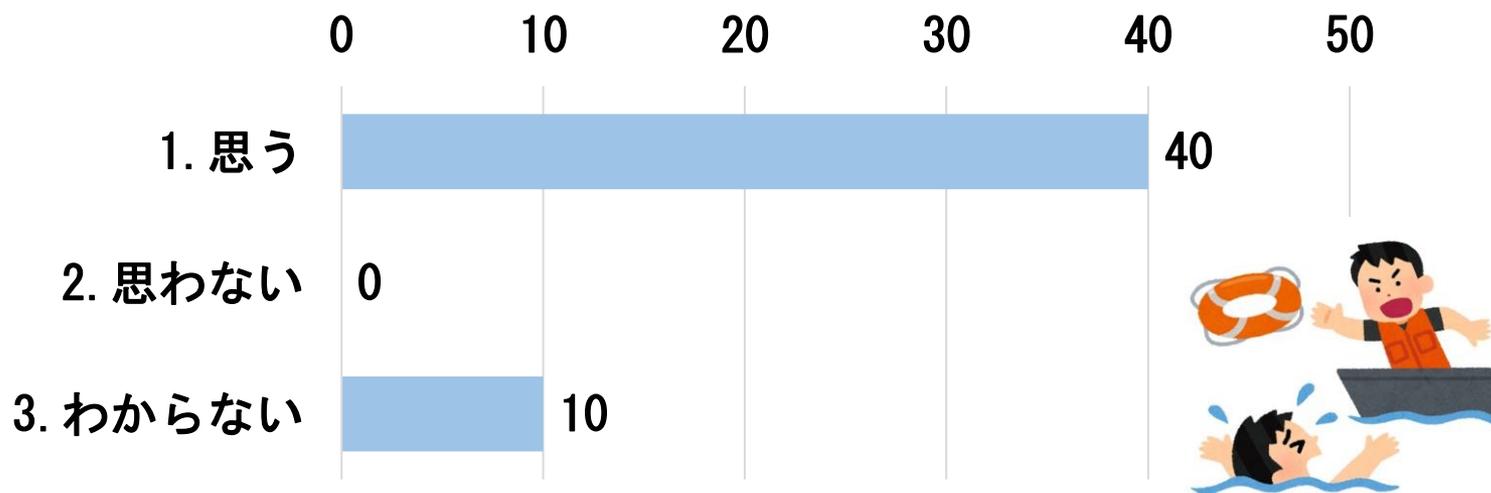
東京都内医師会数：54



保健所やフォローアップセンターからの支援要請に 全て対応できたか



医療支援体制がCOVID19の自宅療養者に対する 医療支援に貢献したと思うか



第5波時の自宅療養感染者・待機者への 医療供給体制の検証（アンケート調査から）

- ほとんど区市町で地医師会による様々な医療提供体制が構築された。
- メガ在宅医療機関と地区医師会の連携は24時間の医療供給体制構築に生かされた。
- 保健所・フォローアップセンターからの医療対応要請にはほぼ全てに対応できた。
- 地区医師会と担当医師は、爆発的に陽性者が増加する中、日常診療の手を休めることなく、ワクチン接種に携わりながら、自宅療養感染者・待機者への医療提供に全力で臨んでいた。
- 各地区医師会は第6波に備えて現状のシステムを更に向上させたいと考えている。

第5波での在宅療養者支援状況



把握できていない方への支援が届かなかった



保健所・FUCからの応援要請には応えることができた

第6波に備えて 自宅療養感染者・待機者への新たな医療支援策

【稼働中】



各地区医師会による診療体制

【稼働中・間もなく全都に拡充】



オンライン診療システムによる広域的な遠隔診療

【新規】



診察・検査医療機関による健康観察支援

【新規】

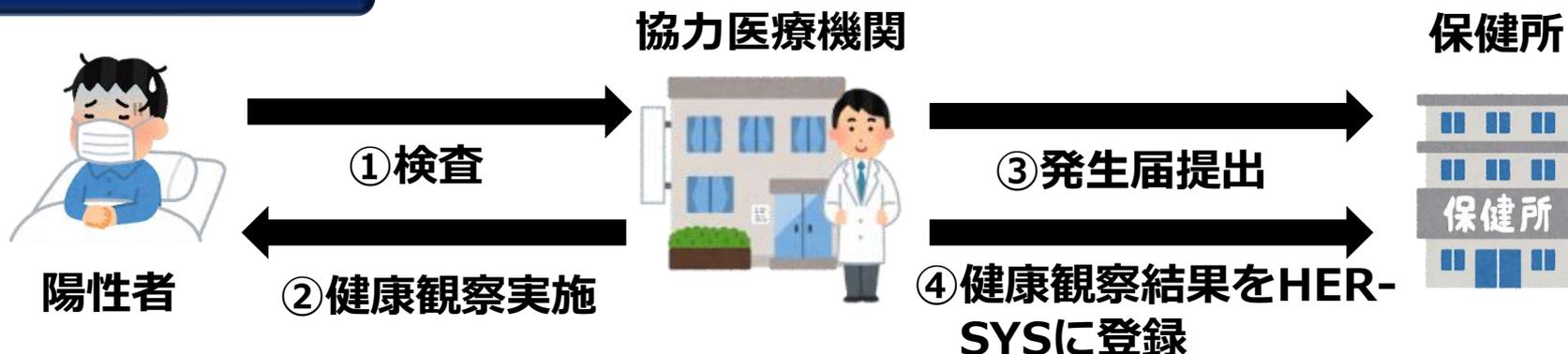


往診体制強化。広域的に往診を行う医療機関選定

【新規事業】

診察・検査医療機関による健康観察等支援

事業イメージ



陽性患者の検査、診療を行った医療機関等が、HER-SYSを利用した発生届の作成と合わせて、自宅療養者に対してMy HER-SYSや電話等による健康観察を実施する。入院の必要性等についても判断する。



往診体制強化策

往診等を広域的に行う医療機関との連携

自宅療養者への医療提供の強化、高齢者施設のクラスター発生時に迅速に対応するために、感染拡大時に往診等を広域的に行う医療機関を都が選定し、自宅療養者等への医療提供体制を強化する。



往診可能な医師数を更に確保！